

職員による自己評価

A環境面

- ・学習・療育と分けられるスペースはあるも、児童数増加に伴い、やや狭く感じるようになる。
- ・共有部分にエレベーターがないこともあり、バリアフリー化はされていない。

B業務改善

- ・日誌や会議に参画してもらうことで、職員間の業務内容や役割を共有することが出来ている。

C適切な支援の提供

- ・児童の状況を共有し合うことで、療育・学習ともに支援内容を提供出来ている。
- ・日誌を活用することで、児童の情報共有がなされ、目標を統一出来ている。

D関係機関との連携

- ・区が実施している支援部会へ参加し、連携を図っている。

E保護者への説明責任・信頼関係

- ・送迎時や LINE・メール・面談時にて保護者様の相談に応じ、一緒に解決策を検討している。
- ・契約時に、教室運営についても説明している。

F非常時対応

- ・年に2回、避難訓練を実施している。
- ・マニュアルの掲示だけでなく、研修も実施している。

保護者による評価

A環境面

- ・日々の職員の方の出勤状態や専門性はわかりません。
- ・所内は充分。ビルの中にエレベーターがないため、車いすやベビーカー使用時など気になる。

B児童への支援内容

- ・少し勉強のレベルが低い気もするが、うちの子のレベルがそうなのかもしれない。
- ・放課後児童クラブの交流などについては、機会を望む家庭と不必要の家庭に意見が分かれる。

C事業所からの情報発信

- ・子どもの状況の報告はあるが、課題については特にない。
- ・オンラインシステムの記録で、保護者コメント欄があると嬉しいです。
- ・苦情を言うようなことが全くないのでわからない。

D非常対応

- ・非常時のアニュアルや説明、避難訓練が行われていることに理解が増えている。

E満足度

- ・行くときは嫌だなと言うこともある。帰ってくると楽しかったと言っている。
- ・たまにイベントなど、もう少し楽しめる物があるといいなと思います。

事業所内での分析

【共通点】

- ・ビルにエレベーターがないことから、バリアフリーとは言えない部分もあるが、教室内の環境には問題がない。
- ・活動が教室内だけということもあり、児童への支援に一部偏りも見られている。

【相違点】

- ・活動プログラムへの工夫については、「どちらともいえない」という意見が多い。
- ・児童の状況や課題について報告していたが、満足になされていないという意見も見受けられる。

分析・検討してみても…

事業所の強み

- ・活動報告を Web システムで確認出来るため、保護者様の時間がある時に、児童への状況報告を行うことが出来ている。
- ・学習・療育ともに課題を踏まえて支援を行うことで、児童の自信につなげている。
- ・駅から近いこともあり、一人で登校することにチャレンジする児童が増えている。
- ・非常時の訓練やマニュアルを作成・研修することが出来ている。

事業所の改善点

- ・教室内での活動のため、プログラムへの偏りが見られる。
- ・活動報告では、共有しきれていない面もあり、再度記録の書き方など検討・統一する必要がある。
- ・ご家庭から教室へ、相談しやすい環境づくりが十分ではない部分が見られる。

事業所の改善への取り組み

- ・季節に合わせた工作やゲームを取り入れることで、活動への変化が付けられるようにする。
- ・活動報告の書き方を再度見直し、見直したものを職員間で統一出来るように研修する。
- ・ご家庭が気軽に相談しやすい雰囲気を作るとともに、職員から積極的にコミュニケーションを行う。また、LINE やメール・電話などのツールも活用していく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

この度もアンケートにご協力頂き、誠にありがとうございます。保護者様から多くのアンケート回答・意見を頂けたこと大変嬉しく思います。2回目の自己評価となりましたが、前回よりも児童数が増えたこともあり、教室内はどの曜日にも活気があふれる光景となりました。その分、課題も多くありまだまだ改善出来る点があることがわかりました。児童および保護者様が今後も安心して通うことが出来る教室を運営出来るよう、努めて参りたいと思います。

事業所名 オレンジスクール あざみ野教室

担当者 管理者 富田 志織

保護者等向け放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：令和3年3月31日 事業所名：オレンジスクール あざみ野教室
 保護者数（児童数）：48（49） 回収数：39 割合：81%

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|----------|---|--|---------|-----------|-----------|--|--|
| 環境・体制整備 | ① | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 34 | 5 | 0 | | |
| | ② | 職員の配置数や専門性は適切であるか | 33 | 6 | 0 | ・日々の職員の方の出勤状態や専門性はわかりません。担当制でもなさそうです。 | ・日々の職員の配置人数はカレンダー横の「今日の先生」で職員の出勤状況がわかるようになっております。 |
| | ③ | 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか | 20 | 15 | 4 | ・ビルの中にエレベーターがないため、車いすやベビーカー使用時など気になる。 ・所内は充分だが、そこまで階段しかない。 | ・ベビーカーなどでお越しの方につきましては、電話を入れて頂き、職員がお手伝いさせていただきますと思います。 |
| 適切な支援提供 | ④ | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか | 36 | 3 | 0 | ・少し勉強のレベルが低い気もするが、ただうちの子のレベルがそうなのかもわからない。 | ・日々学んでいる中で、学習レベルが上がっているため、定期的に児童・保護者様それぞれに、学習物の確認をしています。 |
| | ⑤ | 活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか | 28 | 10 | 1 | | |
| | ⑥ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 必要 6 | 17 | 不必要 16 | ・質問と回答選択が一致していないように思う。 ・そのような機会があれば嬉しいです。 ・障害のない子が通う学童にも通っているので、うちは大丈夫です。 | ・放課後児童クラブや児童館との交流については、「必要」「不必要」の意見を聞いた中で「どちらともいえない」「不必要」の意見が多数のため、交流については、今後検討をしていきたい。 |
| 保護者への説明等 | ⑦ | 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 37 | 2 | 0 | | |
| | ⑧ | 日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解ができてきているか | 32 | 6 | 1 | ・子どもの状況の報告はあるが、課題については特にはない。 ・Webシステムのサービス提供記録で、保護者コメント欄があると嬉しいです。 ・Webシステムはとてもいいです。 | ・Webシステムは、保護者様からの記載が出来ないため、LINEやメールで、気になることをお伝えして頂けるよう、声掛けをしていきます。 ・児童の状況を記載する際には、課題についても、今後記載していくよう職員間で共有していきます。 |
| | ⑨ | 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 31 | 7 | 1 | ・障害のある子どもに対しての面談回数が少ないように思う。（フィードバックの場合） | ・モニタリング以外での面談も実施しております。また、LINE・メール・電話でも随時受け付けております。 |
| | ⑩ | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 必要 7 | 13 | 不必要 18 | ・とくになにも活動がないのでよくわからない。 | ・父母会や保護者会に関しては、「必要」「不必要」の意見を聞いた中で「不必要」が多数を占めたため、今回は見送りますが、事業所事業所としてどのようにアプローチが出来るかを検討していきます。 |
| | ⑪ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 23 | 14 | 1 | ・まだ、そういう状況になっていないのでわかりません。 ・苦情をいうようなことが全くないのでわからない。 | ・児童・保護者様方から苦情等があれば、真摯に対応していきます。 |
| | ⑫ | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 31 | 7 | 1 | | |
| | ⑬ | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか | 29 | 7 | 2 | ・アプリが毎回ログインが必要でやや面倒です。 | ・個人情報保護の観点から、アプリへのログインが必要となります。ご不便をおかけ致しますが、よろしくお願いいたします。 |
| | ⑭ | 個人情報に十分注意しているか | 36 | 3 | 0 | | |
| 非常時 | ⑮ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか | 36 | 3 | 0 | | |

| | | | | | | | | |
|-------------|-------------|---|------------------|----|---|---|--|--|
| 等 の 対 | ⑯ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、 その他必要な訓練が行われているか | 35 | 4 | 0 | | | |
| | 満 足 度 | ⑰ | 子どもは通所を楽しみにしているか | 34 | 2 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・行くときは嫌だなと言うこともある。帰ってくると楽しかったと言っている。 ・遊びの時間がすごく楽しみのようで通っています。 ・行き渋りはたまにあります。先生の個性と合わない時があるようです。でも、行った時は楽しそうに帰ってきます。 ・祝日も行きたいと言っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・行き渋りのある児童も下校時には楽しんで頂けているということで、今後も楽しく学習・療育が出来る場として、支援を続けていきます。 |
| | | ⑱ | 事業所の支援に満足しているか | 33 | 2 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・たまにイベントなど(季節に合わせた)もう少し楽しめる物があるといいなと思います。(マンネリ感が少しあるようです。) ・いつも大変助かっています。ありがとうございます。勉強のレベルがもう少し高い方がいい気もしますが、本人のレベルにはあっているのか自信もつくようですし、楽しいようです。 | <ul style="list-style-type: none"> ・教室内で学習療育を提供しており、マンネリしやすい部分があるため、季節の工作をはじめ遊びも季節的なものを取り入れられるよう、工夫していきたいと思えます。 ・児童の学習への自信とともに難しい問題にも取り組めたという自信も付けられるように、学習教材の見直しもしてまいります。 |

○この「保護者向け放課後等デイサービス評価表 集計(公表)」は、保護者の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業者の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業者における放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：令和3年3月31日 事業所名：オレンジスクール あざみ野教室

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------|---|---|----|-----------|-----|--|--|
| 環境・体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 4 | 0 | 0 | ・法令を遵守している。 ・児童数増加ともない、座席の配置を変える工夫などしている。 | ・児童が多い時間帯になると、やや狭くなるため、限られたスペースの中で、配置の工夫をしていく。 |
| | ② | 職員の配置数は適切であるか | 4 | 0 | 0 | ・法令を遵守している。 ・時間帯や児童数により、個別での対応もしている。 | ・今後も継続していく。 |
| | ③ | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 0 | 3 | 1 | ・建物にエレベーターがなく、教室が4階のため、小さなお子様と一緒に時は、職員がベビーカーを持つなどの対応をしている。 | ・外環境については、大きな改善が出来ないため、職員が出来る範囲のサポートを今後も継続していく。 |
| 業務改善 | ④ | 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | 4 | 0 | 0 | ・担当者会議以外でも、児童の登下校前や後に情報共有を行っている。 | ・児童数が前年度よりも倍増しているため、より多くの職員に参加してもらえるよう継続していく。 |
| | ⑤ | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 3 | 0 | 0 | ・ご家庭から頂いたアンケートをもとに、今後も業務改善につなげていく。 | ・今後も継続していくとともに、今回頂いた意見を職員間で共有し、改善に繋げていく。 |
| | ⑥ | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 3 | 0 | 0 | ・オレンジスクールあざみ野教室のHPにて公開している。 ・会報は現在取り組んでいない。 | ・今後も継続していく。 |
| | ⑦ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 0 | 1 | 2 | ・実施していない。 | ・事業所とご家庭の二者評価を継続していく。 |
| | ⑧ | 職員の資質を向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 4 | 0 | 0 | ・オンラインでの外部研修や、社内で発達障害の理解を深めるための研修に参加することが出来ている。 | ・今後も継続していく。 |
| 適切な支援の提供 | ⑨ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 4 | 0 | 0 | ・ご家庭とは送迎時やLINE・メールでの会話や連絡から、児童とは日々の支援を通して、個別支援計画の作成につなげている。 | ・今後も継続していくとともに、児童ご家庭の声を聴き、支援に繋げていく。 |
| | ⑩ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 4 | 0 | 0 | ・アセスメントシートは事業所内で統一したものを使用している。 | ・今後も継続していく。 |
| | ⑪ | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 4 | 0 | 0 | ・臨時休校が続いた際には、教室内で出来るストレス発散方法を考え実施していた。 ・日々の支援の中での気づきを共有し、反映するよう努めている。 | ・今後も児童の状況に合わせて立案していく。 ・遊びなどがマンネリにならないよう、今後も様々な工作やおもちゃ、ゲームなどを提供していく。 |
| | ⑫ | 活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか | 4 | 0 | 0 | ・季節の工作や流行りの工作、おもちゃ図書館を利用することで、固定化されないよう、工夫している。 | ・今後も継続していくとともに、教室の状況に応じて変更していく。 |
| | ⑬ | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 2 | 2 | 0 | ・学習面では、長期休暇の際に復習や確認プリントを提供することで、個々の課題を見直す機会に繋げている。 | ・今後も継続していく。 |
| | ⑭ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか | 3 | 1 | 0 | ・学習と療育を時間で区切ることで、集団や個別活動が出来る時間を設け、児童の状況に合わせた時間配分になるようにしている。 | ・今後も継続していく。 |
| | ⑮ | 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 3 | 1 | 0 | ・前年度に引き続き、日誌を活用し時間割や児童の共有を行い役割を決めている。しかし、児童数増加に伴い、引継ぎが難しい時もある。 | ・今後も継続していくとともに、より良い方法を模索していく。 |
| | ⑯ | 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 4 | 0 | 0 | ・支援後の振り返り内容を日誌に記載することで、当日いない職員にも周知出来るようにしている。 | ・今後も継続していく。 |

| | | | | | | | |
|--|---|--|---|---|---|---|---|
| | ⑰ | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 4 | 0 | 0 | ・児童の行動に対し、職員の声掛け、その後の児童の変化を記録し、次回の課題や対応策を考えることは出来ている。 ・ご家庭へ配信する前に他職員で確認している。 | ・今後も継続していくとともに、児童の課題についても共有できるように記載していく。 |
| | ⑱ | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 4 | 0 | 0 | ・職員全員でモニタリングの時間を設けることで、療育学習ともに支援の見直しと今後の目標設定の一致が行えている。 | ・今後も継続していくとともに、意見の言い合える場を増やしていく。 |
| | ⑲ | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか | 2 | 2 | 0 | ・自立支援、創作活動、余暇支援の提供など行うことが出来ている。 | ・今後も継続していく。 |
| 関係機関 関 保 護 者 と の 連 携 | ⑳ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 0 | 3 | 0 | ・必要に応じて会議の参加要請があれば、代表で児童発達支援管理責任者が出席している。その際に、児童に精通した職員の意見を事前に聞いている。 | ・今後も基本的には児童発達支援管理責任者が参画するが、必要に応じて児童指導員も参画していく。 |
| | ㉑ | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | 0 | 3 | 0 | ・学校との直接のやりとりはないが、HPで行事や授業進捗の確認、ご家庭からも送迎時やLINE・メールで教えて頂いている。 | ・必要に応じて、学校と直接の連絡・連携を検討していく。 |
| | ㉒ | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | 0 | 3 | 1 | ・利用時にご家庭を通して医療機関や主治医について、緊急時の対応方法の確認をしている。 | ・今後も継続していく。 |
| | ㉓ | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 0 | 4 | 0 | ・ご家庭を通じて支援計画等の情報を共有をしている。 | ・ご家庭や児童の状況など、必要に応じて直接連絡・連携を検討していく |
| | ㉔ | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 0 | 1 | 2 | ・現時点で、障害福祉サービス事業所等へ移行する児童がいない。 | ・ご家庭や児童の状況など、必要に応じて直接連絡・連携を検討していく。 |
| | ㉕ | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 0 | 1 | 2 | ・感染症流行により外部研修への参加頻度は減少するも、オンライン参加が出来る研修に参加し実施出来ている。 | ・今後も継続していく。 |
| | ㉖ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 0 | 0 | 4 | ・教室内での活動に限定しているため、交流については現在行っていない。 | ・必要に応じて活動の実施を検討していく。 |
| | ㉗ | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか | 1 | 2 | 1 | ・区で開催されている専門部会などへ参加している。 ・コロナにより、参加を見送る場合もある。 | ・今後も継続していくとともに、参加しやすい環境になれば、積極的に参加していく。 |
| | ㉘ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 3 | 1 | 0 | ・オンラインシステムを元に、活動内容を共有している。 ・送迎時やLINE・メール・面談時で教室での様子や学校・家庭での様子を共有し共通理解に努めている。 | ・今後も継続していくとともに、フィードバック出来る環境を作っていく。 |
| | ㉙ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | 0 | 3 | 1 | ・現在実施していない。 | ・面談時に、ご家庭からご相談があれば今後の実施について検討していく。 |
| 保 護 | ⑳ | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 4 | 0 | 0 | ・契約時に要所ごとの不明点も尋ねるなどの対応をしている。 ・教室内にも見える場所に掲示をしている。 | ・今後も継続していく。 |
| | ㉑ | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 3 | 1 | 0 | ・モニタリングや面談、送迎時に話をするなどして対応している。 | ・今後も継続していくとともに、相談に対して必要な助言と支援が出来るようスキルアップをしていく。 |
| | ㉒ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 0 | 0 | 4 | ・現在実施していない。 | ・現在実施していないが、ご家庭の意見を踏まえ検討していく。 |

| | | | | | | | |
|----------|----------------------------|--|---|---|--------------------------|--|---|
| 者への説明責任等 | ③③ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 4 | 0 | 0 | ・児童の要望に応じ、教室内のルールを変更したり、ご家庭からの苦情内容を受け止めて、会社内・関係機関に報連相を行うなどの対応が出来ている。 | ・今後も、ご家庭と児童の意見を聞き、社内で迅速に対応し、改善に向け取り組む。 |
| | ③④ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 2 | 2 | 0 | ・活動内容をブログ等で発信している。 また、長期休みのお知らせなどは紙面でも周知している。 | ・今後もブログ等で定期的に報告していく。 |
| | ③⑤ | 個人情報に十分注意しているか | 4 | 0 | 0 | ・年に1回、研修を実施しており書類等は鍵付きの棚で保管し、PCデータのセキュリティ対策を行い注意している。 | ・今後も研修や管理を徹底していく。 |
| | ③⑥ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 4 | 0 | 0 | ・意思疎通に適切な方法をご家庭と共有し、実施している。 | ・今後も継続していく。 |
| | ③⑦ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 0 | 1 | 3 | ・現在実施していない。 | ・実施するかについては、必要に応じて検討していく。 |
| 非常時等の対応 | ③⑧ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 3 | 1 | 0 | ・玄関先に掲示されているため、児童が手に取り読むことが多く、ご家庭もマニュアルがあることを確認することが出来ている。 | ・今後も継続していく。 |
| | ③⑨ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 4 | 0 | 0 | ・春と夏の年2回実施することで、全児童が参加できるように、日時を決め開催している。 | ・今後も継続していく |
| | ④⑩ | 虐待を防止するために、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 4 | 0 | 0 | ・毎年、事業所内で研修を実施している。 | ・今後も継続していく。 |
| | ④⑪ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定をし、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 4 | 0 | 0 | ・契約時に、具体例を出して説明することで、同意書をいただいている。 | ・やむを得ず身体拘束を行った場合には、ご家庭に説明を行い、記録に記載している。 ・身体拘束が発生しないように、支援をすることを心掛ける。 |
| | ④⑫ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 0 | 1 | 3 | ・食事、おやつ提供は行っていない。 ・ご家庭から契約時にアレルギーの聞き取りは行っている。 | ・今後も継続していく。 |
| ④⑬ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 3 | 1 | 0 | ・日誌で日々のヒヤリハットを記録し共有している。 | ・今後も継続していくとともに、どのような環境や状況でヒヤリハットが起りやすいか、今後話し合いの場を持つ。 | |

○この「事業所向け放課後等デイサービス自己評価 集計（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。